



地域交流の拠点として完成した多目的複合施設「真壁伝承館」

周辺の町並みに配慮した新たな交流スペースの誕生！

桜川市真壁町真壁に建設が進められていた「真壁伝承館」が9月1日（木）開館いたしました。開館に先立ち、去る7月27日（水）に館内の、まかべホールで関係者約100人が参加し竣工記念式典が開催されました。

区のシンボルとしてだけでなく、地域の交流スペースとして利活用が期待されます。

真壁伝承館の概要

規模

- ・敷地面積 約5,500㎡
- ・建築面積 約1,729㎡
- ・延床面積 約2,743㎡
- ・建築工事費 約15億1,463万円

特徴

同館は老朽化していた真壁中央公民館の建て替えとして建設されていたもので、平成19年度からの用地測量、基本設計、発掘調査などを経て21年度から工事に着手しておりました。今回、多目的複合施設である真壁伝承館の完成に伴い国の重要伝統的建造物群保存地区

同館は、鉄骨耐震壁付ラーメン造という近代的技法を用いて建設されています。そのため建物内部は、あまり柱が見えない構造から空間に凹凸がなく、使い勝手の良い建物になっています。外見は、歴史を感じさせる既存の町並みなど周辺景観を

考慮して白黒のモノトーンを基調としています。また、建設敷地内からは、江戸時代の真壁陣屋跡の池や堀の跡が発見されたため、歴史資料館内ではこれらを展示するとともに、遺構の地上表示を行う手法も取り入れています。

主な装備

- 本館／1階 事務室・会議室・和室・調理室、2階 会議室・創作室・音楽スタジオ
- まかべホール／300人収容（可動いす）・市民ロビー
- 歴史資料館 1階 展示室、2階 収蔵室・歴史作業室
- 真壁図書館／1階 開架室・プレールーム・児童図書室、2階 学習室・閲覧室
- 付帯施設／真壁中央公園

重要伝統的建造物群保存地区の

シンボル「真壁伝承館」9月1日開館

MAKABE DENSHOKAN

真壁伝承館建設にご協力いただいた皆さま

- 土地協力／塚本和二郎様
- ホール緞帳寄贈／エンケイマカベ（株）様
- AED寄贈／桜川市歯科医師会様
- 書籍等寄贈（海老沢泰久氏〈直木賞作家〉遺品）／海老澤順子様
- 植栽寄贈／飯泉賢一郎様



真壁伝承館竣工記念式典が去る7月27日（水）同館のまかべホールで、国・県・近隣区長などの関係者約100人が参加し開催されました。



式典の中、中田市長からは今後、真壁伝承館が地区のまちづくりの起爆剤となることを期待するとともに、また「市民の皆さまが整備されてよかった」という施設になるよう市としても利活用の促進に努めてまいりますとあいさつしました。



竣工式のアトラクションでは、茨城県警音楽隊による記念コンサートが真壁伝承館ホールで行われ、一般市民の方も含む約300人が入場。音楽隊の素晴らしい演奏に終始、耳を傾けていました。